

# 「2016年春・台湾滞在記」

平成28年2月2日～25日

〈出発〉

2月2日にLCCのSCOOTで台湾に来ました。これから25日まで台湾に滞在しますので、その滞在記を発信したいと思います。

SCOOTは、行きは11時45分と大変良い時間帯ですが、帰りが早朝なので滞在地が空港から遠いところからではちょっと大変ですね。

座席はほぼ満席ですが、団体のキャンセルがあったのか一部に空席のエリアがありました。乗客は台湾人が多いですね。この飛行機は、台湾経由でシンガポールまで行きます。この飛行機を選ぶのも、親会社がシンガポール航空なので信頼性が有るからです。

定刻に出発して、定刻に台湾桃園空港に到着しました。今日は、天気も良く揺れも有りませんでした。1年ぶりの台湾は天気があまり良くなく、寒いです。最近は天気が良くないらしく、沖縄で雪が降った時、台湾でも平地で雪が降ったそうで、大騒ぎだったらしいです。

義弟が迎えに来てくれていました。30分ほどで、平鎮にある女房の妹の家に着きました。以前は「平鎮市」だったのですが、桃園県に吸収合併されて、今では桃園県平鎮区に成りました。中壢区の隣で、旧中壢市には「資生堂」や「YKK」等の日本企業の工場が沢山あります。今年の「台湾燈會」（台湾ランタン祭り）は桃園県中壢区に有る「高鐵桃園站」付近で開催されます。

今回は大きな勘違いをしてしまいました。旧正月を、2月8日なのに、2月6日だとばかり思っていたので、友人等に大変迷惑を掛けてしまいました。

春節も近いので、市場などへ買い物に行っても正月用品が沢山有並んでいます。昔に比べると何か盛り上がりには欠けますね。正月飾りを売る屋台も大変少ないです。若い人たちは西洋式に1月1日を正月で祝う事が多くなっているようです。



豚肉の出張販売？



市場の鶏肉屋さん



春節の縁起物果物飾り



冬ですが果物がいっぱいです

## 〈南台湾震災〉

大晦日前夜の2月6日、台湾では「小年夜」と言いますが、大変な事が起こってしまいました。台湾南部でM6.4の大地震が起こりました。

震源地は、高雄県の美濃区付近で高雄市でも震度6だったようです。美濃地区は、「美濃客家」と言う人たちが多く、教育者や学者などの有名人を多く輩出しています。「美濃板條」という麺料理が有名です。私の義弟も客家ですが、彼は「苗栗客家」です。

客家の人々は、中国の「中原」と言う中央部に多く住んでいましたが、迫害を受けたりで、独特の家屋や文化を作って集団で暮らしていましたので、海外でもそのスタイルなのでしょう。食べ物なども客家独特のものが有りますが、日本人の口に大変合います。漢字も日本の音読みで発音するのが多いですね。

桃園地区では、幸い震度1くらいで、揺れが長いなと思うくらいでしたが、震源地の深さが16km位と浅かったため、高雄県の震源地付近では揺れが強かったようです。

特に、台南市の南部に被害が集中して「永康区」では、高さ17階建てのビルが倒壊して大きな被害が出ました。その他、「新化区」などでもビルの倒壊や傾きが沢山起きました。台南のこの南部地区は、高雄の震源地からは離れていたのですが、地盤が悪く液状化現象が起きて被害が大きくなったようです。日本の千葉の浦安市の様です。



倒壊した17階建てのビル



1階が潰れた市場、車が下敷きに



救出空しく亡くなった新生児と消防隊員



奮闘中の台南市の頼市長

17階建ての、高いコの字型のビルが倒壊したので変だなと思ったのですが、どうも人災のようです。

柱の中に、コンクリートではなく、食用油の18リットル（一斗缶）缶が沢山並んで入っていました。コンクリート量を減らすために入れたものらしいです。

又、壁も発泡スチロールで間仕切りしたように成っているところが有り、耐力壁には成っていません。17階の高層ビルにこのようなものを使っていたのはたまりませんね。築22年との事なので、南投県の1999年921大震災

以前なのでこのような事が有ったのだと思います。921以後は検査も施工方法も厳しく成ったそうです。

台南市の頼市長も連日不休で現地で指示をしています。履いている靴もボロボロとTVで映していましたが、それを国民党の議員が、わざとそんな靴を履いているなどと揶揄していました。又、市長が寄付を募った事を、脅迫して金を集めているなどと言ってましたが、元々頼市長は台湾でも一番人気のある市長なので、逆に国民党が笑われています。こんな事では益々国民党は人気が無くなりますね。

7日現在で18名の死者ですが、行方不明が100人以上いますので、まだまだ増えそうです。日本からの救援隊も、今日7日には着くそうです。(最終的には死者が114名に成りました。)日本からの緊急援助金も1億3000万円が23日に決まりましたが、ちょっと遅いかな？

5年程前に台湾に滞在していた時にも、日本で311の震災が有りましたが、その時もTVを見て、映画か他人事のような気がしました。

今回も平鎮では、揺れも小さくてゆっくりと長く、日本人としては慣れている揺れでしたので気にも留めなかったのですが、朝、日本の息子から電話が有り、慌ててTVを付けて被害状況を知りました。灯台元暮らしで、情報は早いですね。

今回の地震は「206」南台湾大震災で、「311」が、東日本大震災、「911」がアメリカのテロ、「921」が台湾の中部大震災ですが、いやな数字の並びですね。